

平成24年（第6回）みどりの学術賞受賞者

しん じょうちょう ゆう

新城 長 有（80歳） 琉球大学名誉教授

（功績概要）

育種学の分野において、世界各地のイネの栽培品種や野生種を調査し、従来存在しないと考えられていたイネの細胞質雄性不稔系統をインド・バングラディシュ地域に由来する4品種のイネから発見するとともに、その遺伝様式を明らかにした。これをもとに、雑種イネを育種するための基本材料を開発し、この学術研究成果が中国などにおける雑種イネの開発、米の増産に寄与するなど、斯学の発展に貢献した。

なか むら ふと し

中村 太 士（53歳） 北海道大学大学院農学研究院教授

（功績概要）

生態系管理学の分野において、森林、河川、湿地等のさまざまな生態系で構成される流域に焦点を当てて研究を行い、洪水や山崩れなどの地表変動攪乱は、生態系の維持機構として重要な役割を果たしていることを明らかにするとともに、流域内の生態系の相互作用を解明した。これをもとに、生物種と生息環境を基準にした生態系評価と復元の方法を確立し、これが日本の森林、河川、湿地の管理指針として定着するなど、斯学の発展に貢献した。

（年齢は平成24年4月27日現在）